

# 日本-インドネシア地方行政セミナーが開催されました！

シンガポール事務所

2023年9月20日（水）、総務省とインドネシア内務省（Ministry of Home Affairs）の共催で「日本-インドネシア地方行政セミナー」がインドネシアのジャカルタ特別州内のホテルで開催されました。

「アジア地方行政セミナー」は、地方行政に携わる幹部及び職員を対象に、1999年から総務省が東南アジア各国の協力を得て、当該国が抱える課題・関心事項をテーマに講演や意見交換などを実施しているものです。

今回はインドネシア・ジャカルタで開催されることとなり、「地域活性化と人材育成～地域の発展を実現するための具体的な取組～」をメインテーマに日本とインドネシアの先進事例が報告されました。当事務所は、総務省とインドネシア政府の関係機関等との連絡調整及び当日の運営支援を担当しました。

## 1 セミナー開会にあたって

インドネシアでは地域活性化やそれを担う職員の人材育成が課題になっていることから、今回のメインテーマが設定され、セミナー当日には、約170名の自治体の首長及び担当職員が一堂に会し、意見交換を行いました。

開会式では、総務省の山越伸子地域力創造審議官、在インドネシア日本国大使館の金杉憲治大使、ムハマド・ティト・カルナフィアン内務大臣から挨拶をいただきました。ティト内務大臣からは現在のインドネシアについて説明もあり、インドネシアは人口ボーナス期にあるため経済も発展しているが、この時期にこそ将来を見据えた取り組みを実施しなければならないと考えている、と述べられました。



【ティト内務大臣からの挨拶】

## 2 両国登壇者によるプレゼンテーション

### (1) 基調講演

最初のプログラムとなる基調講演では、総務省の山越地創審から「日本の地方自治制度について」と題して、日本の地方自治と地方財政についての概要や日本の地方公共団体が抱える課題などについて講演がありました。

続いて、インドネシア側からは、内務省村落行政総局ハイイル・ドイ・サプタ村落行政組織・家族福祉・住民サービス局長より「インドネシアの村落開発政策と戦略：公平な開発を達成するための村落管理」というテーマでインドネシアの地方自治制度について講演がありました。具体的には、中央集権化ではなく地方分権化を進めるためにも村落開発が必要となっていることや、インドネシア政府の村落開発のために取り組んでいることなどについて説明がありました。



【山越地創審による基調講演】



【ハイイル局長による基調講演】

## (2) 事例発表及びパネルディスカッション

次に、日本・インドネシアそれぞれの先進事例の発表とパネルディスカッションが行われました。

第1の事例発表では、兵庫県養父市の広瀬栄市長から「朝倉山椒の取組み」について、養父市の特産品である朝倉山椒のブランド化の道のりについての講演がありました。また、インドネシア側からは、北ルーウ県のインダ・プトリ・インドリアニ知事から「村落部の地域経済の活性化：北ルーウ県のベストプラクティス」と題して北ルーウ県における地域開発について発表がありました。パネルディスカッションでは、インドネシアの各自治体の首長や職員から多くの質問が寄せられ、このうち、広瀬養父市長の発表については、ブランド化成功の鍵の一つとなった民間企業の人材活用に関する質問がありました。



【広瀬養父市長による取組事例報告】



【パネルディスカッションの様子】

第2の事例発表では、日本側からは自治大の長岡丈道教授による「地域の活性化等を担う職員の人材育成について」の発表が行われ、自治体学校が果たす役割や国と地方自治体間の人材交流などの説明がありました。その後、インドネシア内務省村落行政総局のハイイル・ドイ・サブタ村落行政組織・家族福祉・住民サービス局長から「村行政機構の能力向上を通じた村落地域振興の加速化」と題して、インドネシア内務省が実施している国内の各村落の地域経済活性化のための取組みについての発表がありました。第2の事例発表後のパネルディスカッションにおいても多くの質問や意見が寄せられましたが、とりわけ人材交流に関してはインドネシアと日本という国家間での人材交流をぜひ行いたいという意見もありました。



【長岡教授による取組事例報告】



【パネルディスカッションの様子】

### 3 地方部の地域活性化と村落開発を担う人材育成に向けて

事例発表及びパネルディスカッションが終了した後、ザナリアインドネシア内務大臣補佐官（公務員・公共サービス担当）から閉会の挨拶があり、今回のセミナーで日本及びインドネシア両国の優良事例を学ぶことができ、両国にとって有意義なセミナーになったとのコメントがありました。また、インドネシアでは都市化が急速に進み、都市部と地方部間の格差が生じていることから村落開発の必要性が高まっているため、今回学んだことを活かして、村落における地域活性化や開発を担う人材の育成に取り組んでほしいとも話がありました。



【ザナリア補佐官による閉会挨拶】

### 4 おわりに

人口ボーナス期にあるインドネシア、少子高齢化が加速している日本、と国を取り巻く状況には違いはありますが、両国の地域活性化とそれを担う人材育成への意欲は共通しており、参加者は各講演に熱心に聞き入っていました。各パネルディスカッションでの質疑応答においても参加者からさまざまな質問や意見が寄せられ、今回のテーマへの関心の高さが窺えました。今後も今回のセミナーのような機会を通じて両国間の連携強化や交流促進が期待されます。

なお、今回のセミナーの報告内容や講演資料については、総務省自治行政局国際室のホームページでも掲載される予定です。



【登壇者及び参加者全体での集合写真】

CLAIR

## ■「日本-インドネシア地方行政セミナー」開催概要

会期	2023年9月20日(水)
開催場所	マンダリンオリエンタルジャカルタ(インドネシア・ジャカルタ)
主催	日本：総務省 インドネシア：インドネシア内務省(Ministry of Home Affairs)
参加者	200人程度 (日本側16名、インドネシア内務省20名・インドネシアの地方自治体職員170名程度)
プログラム	内 容
開会式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本代表開会挨拶：総務省 山越 伸子 地域力創造審議官</li> <li>・日本来賓挨拶：在インドネシア日本国大使館 金杉 憲治 大使</li> <li>・インドネシア代表開会挨拶：ムハマド・ティト・カルナフィアン 内務大臣</li> <li>・記念品交換</li> <li>・フォトセッション(記念撮影)</li> </ul>
基調講演①	テーマ：日本の地方自治制度について 講師：総務省 山越 伸子 地域力創造審議官
基調講演②	テーマ：インドネシアの村落開発政策と戦略：公平な開発を達成するための村落管理 講師：インドネシア内務省 エコ・プラセティアント・ブルノモ・プトロ 村落行政総局長 (代理：インドネシア内務省村落行政総局 ハイイル・ドイ・サブタ 村落行政組織・家族福祉・住民サービス局長)
昼 食	
事例発表① 【日】	テーマ：朝倉山椒の取り組み 講師：兵庫県養父市 広瀬 栄 市長
事例発表① 【尼】	テーマ：村落部の地域経済の活性化：北ルーウ県のベストプラクティス 講師：北ルーウ県 インダ・ブトリ・インドリアニ 知事
パネル ディスカッション	<b>◆モデレーター</b> インドネシア内務省協力促進局 二国間関係課国際協力担当 ダメリア・パンジャイタン氏 <b>◆パネリスト</b> 日本側：兵庫県養父市 広瀬 栄 市長 インドネシア側：北ルーウ県 インダ・ブトリ・インドリアニ 知事
事例発表② 【日】	テーマ：地域の活性化等を担う職員の人材育成について 講師：総務省 自治大学校 長岡 丈道 教授
事例発表② 【尼】	テーマ：村行政機構の能力向上を通じた村落地域振興の加速化 講師：インドネシア内務省村落行政総局 ハイイル・ドイ・サブタ 村落行政組織・家族福祉・住民サービス局長
パネル ディスカッション	<b>◆モデレーター</b> インドネシア内務省村落行政総局 企画担当 ウィンダ・カッタレヤ氏 <b>◆パネリスト</b> 日本側：総務省 自治大学校 長岡 丈道 教授 インドネシア側：インドネシア内務省村落行政総局 ハイイル・ドイ・サブタ 村落行政組織・家族福祉・住民サービス局長
閉会挨拶	ザナリア インドネシア内務大臣補佐官(公務員・公共サービス担当)

(大澤所長補佐 長野県派遣)  
(木村所長補佐 富山県派遣)